

## 「第2回日中韓若手農村指導者交流プログラム」(計画案)

(24.3.20) 日中韓三国協力事務局 作成

### □ 背景及び目的

日中韓は農業従事者の高齢化、労働力不足、耕作放棄地の増加など様々な問題を抱えている一方、日中韓はIoT、人工知能、ロボット技術などの最先端科学技術発達国であり、農業分野においても「スマート農業」をリードしている。特に韓国は若手農家を中心に「スマートファーム」創業の事例が増加している。

日中韓三国協力事務局(TCS)は2023年の第1回日中韓若手農村指導者交流プログラム（T R E P）に続き、2回目のTREPプログラムとしてスマート農業、技術革新をテーマに取り上げる。

### □ プログラム概要(案)

- (日程) 2024.7月上旬（現段階で7月2日（火）～5日（金）予定、変更の可能性あり）
- (開催地) 大韓民国、全羅北道
  - (テーマ): 「現代のニーズに応える農業：未来へのイノベーション協力」
  - (主催) 日中韓三国協力事務局(TCS)
  - (共催) 全羅北道
  - (後援) 韓国農林畜産食品部、日本農林水産省、中華人民共和国農業農村部
  - (参加者) 日中韓の若手農村指導者\* 各3-4名及び各国政府関係者1名
    - \*20-40歳代程度の農家、農業起業家、農業技術関連研究者など
  - (言語) 英語（必要に応じて通訳あり）

### ○ (詳細プログラム)

区分	時間	内容
<b>一日目</b>		
移動	午前	日本・中国参加者 仁川または金浦空港到着 全羅北道へ移動
チェックイン	~16:00	日中韓参加者宿泊先 到着
食事	18:00-20:00	参加者歓迎ディナー
<b>二日目</b>		
開会式	09:00-11:20	開会式 ※詳細3頁
食事	11:45-12:45	昼食

<b>訪問</b>	13:45-14:45	金堤スマートファーム革新バレー視察
<b>講義</b>	15:00-16:15	革新バレー青年起業プログラム卒業生による講義
<b>討論/対話</b>	16:30-17:45	革新バレー青年起業プログラム卒業生、在学生、講師との スマート農業に関する討論または対話
<b>食事</b>	18:30-20:00	夕食
<b>三日目</b>		
<b>移動</b>	09:00-10:00	全州→任実
<b>訪問</b>	10:00-10:45	任実チーズテーマパーク訪問
<b>食事</b>	11:00-12:00	昼食
<b>移動</b>	12:00-12:45	任実→淳昌郡
<b>講義</b>	13:00-14:15	農業分野での日中韓協力に関する講義
<b>体験</b>	14:30-16:30	コチュジャン、トッポギ作り
<b>訪問</b>	16:40-18:00	淳昌コチュジャン民俗村
<b>食事</b>	17:30~	夕食
<b>四日目</b>		
<b>閉会式</b>	09:00-10:30	プログラム終了式および参加者表彰状授与
<b>移動</b>	11:00-14:40	地域バスターミナルから仁川空港へ移動
<b>移動</b>	16:00~	日本、中国側参加者出国

※ 上記日程は地方自治体との協議により変更可能性有り

「第2回日中韓若手農村指導者交流プログラム」開会式および閉会式（案）

## 1. 開会式

- ・ (日時) 7月上旬, 9:00-11:30
- ・ (場所) 全州国立無形遺産院 NIHC (TBD)
- ・ (詳細)

区分	時間	内容	備考
開会	20'	開会式 - 全羅北道関係者 開会挨拶 - TCS事務局長 開会挨拶 - 全羅北道国際関係大使の祝辞	各 5分
政府関係者 発表	40'	- 日中韓政府関係者発表(3名) - 全羅北道関係者自治体政策発表	各 10分
国際機関代表	10'	国連食糧農業機関(FAO)韓国事務所 '食料安全保障危機状況に対応する中長期戦略(気候変動戦略及び科学革新戦略)'	
写真撮影	5'	参加者・来賓の集合写真撮影	
休憩	15'	コーヒーブレイク	
自己紹介	60'	参加者自己紹介、事業紹介、関心分野紹介	各 5分

※ 必要に応じて順次通訳を提供

## 2. 閉会式

- ・ (日時) 7月上旬, 9:00- 10:30
- ・ (場所) ラハンホテル (TBD)
- ・ (詳細)

区分	時間	内容	備考
発表	60'	日中韓参加者による所感、アイデア共有	各 5分
閉会式	10'	全羅北道関係者、TCS 閉会の挨拶	各 3分
修了式	15'	参加者修了証授与	

写真撮影	5'	参加者集合写真撮影	
------	----	-----------	--

## □ 設立背景

○ 2009.10.10

第2回日中韓首脳会議(中国・北京)時、韓国首脳が3国協力の効率的・体系的な管理・発展のための常設事務局設立の必要性を提案、3国首脳間で合意

○ 2010.5.29-30

第3回3国首脳会議(済州)を機に「三者間協力事務局の設立に関する協定(Memorandum)」を採択、11年に韓国内事務局設立に合意

○ 2011.9.1

「日中韓三国協力事務局」設立 (韓国・ソウル)

## □ 機能

○ 3国政府間協議会への実質的な支援提供及び主要協議会への代表団派遣

\* TCSの日中韓首脳会議への参加状況

第5回(中国・北京)、第6回(韓国・ソウル)、第7回(日本・東京)、第8回(中国・成都)

\* TCSの日中韓閣僚級会議への参加状況(16分野)

外交、災害管理、経済通商、環境、農業、知的財産権、情報通信、科学技術、交通・物流、水資源、文化、教育、保健、スポーツ、観光、人事管理

○ 3国関係者および必要に応じて他の国際機関とのコミュニケーション及び協議を通じて、東アジア協力メカニズム支援

○ 協力可能な分野及び潜在的プロジェクトを発掘し、関連協議会への報告

○ 3国政府に協力プロジェクトの結果報告およびデータベース登録

## &lt;TCS 重要プロジェクト&gt;

○ 日中韓三国協力国際フォーラム

○ 日中韓ジャーナリスト交流プログラム

○ 青年大使プログラム

○ 日中韓企業家フォーラム

○ 日中韓地方都市交流

○ 日中韓共通漢字語彙集および日中韓共通漢字語彙集

□ 組織構成

協議理事会は事務局長1名と事務次長2名で構成されており、政治部、経済部、社会・文化部、総務部の4部署によって構成されています。

＜ 第7期協議理事会 (2023.9 – 2025.8) ＞		
事務局長	韓国	李熙燮 (イ・ヒソプ) 前 在福岡日本国総領事館総領事
事務次長	日本	図師執二 前 内閣府内閣情報調査室参事官
事務次長	中国	顔亮 (ヤン・リャン) 前 中国外交部国際機関局参事官



## □ プログラム概要

- (日時/場所) 23.8.10 (木) ~ 23.8.14 (月) / 中国、黄山市
- (主催) 日中韓三国協力事務局(TCS), 黄山市政府
- (テーマ) 農村観光を中心とした農村の革新と持続可能な発展
- (内容) 日中韓若手農村指導者交流ネットワーク構築及び中国内農村振興事例の現地視察
- (参加者) 日中韓の青年農業人各5名及び各国政府関係者1名
- (詳細プログラム)

区分	時間	内容
<b>2023年 8月 10日 (木曜日)</b>		
オリエンテーション	14:30-16:30	北京市でのオリエンテーション
移動	21:00	黄山市到着
<b>2023年 8月 11日 (金曜日)</b>		
開会式	9:00-10:30	開会式
活動	10:30-11:30	安徽省農産物展示会観覧
訪問	14:00-15:10	黄山市展示館訪問
視察	15:30-16:30	奕棋村視察
視察	16:30-17:30	農村活性化モデル村視察
<b>2023年 8月 12日 (土曜日)</b>		
視察	09:00-10:30	現代農業産業団地訪問視察
訪問	10:30-11:30	棠樾村訪問
訪問	14:00-15:00	謝裕大 (茶)博物館訪問
訪問	15:00-17:00	徽州訪問
<b>2023年 8月 13日 (日曜日)</b>		
訪問	08:30-10:30	黄山 玉屏景区訪問
視察	12:30-13:30	塔山书院訪問
訪問	13:30-14:30	宏村訪問
視察	14:30-16:30	七葉生態農業有限公司(醸造所)訪問
活動	17:30-18:30	終了ワークショップおよび 参加証明書授与式